



ディスクゲッター9



ディスクゲッター9とは	フライングディスクを投げて、的（9枚のパネル）を狙うスポーツです。難しいルールもなく子どもから大人まで一緒になって楽しむことができます。
起源・歴史	「フライングディスク」の原型である「frisbee」は、1940年代アメリカのコネチカット州にあった「frisbeeパイ」のパイ皿を投げて遊んだことに始まると言われます。その後、安全なプラスチック製の「フライングディスク」が改良され、それを使用した様々なスポーツが生まれました。
遊び方・ルール	<ul style="list-style-type: none">・基本的な遊び方 12枚のディスクを投げ、何枚のパネルを抜けるか競う。・ポイントディスクゲッター 3枚のディスクを投げ、抜いたパネルの合計点数を競う。・ディスクゲッタービンゴ 3～5枚のディスクを投げ、パネルを1列（タテ・ヨコ・ナナメ）に抜いてビンゴを狙う。 などがあります。
その他	投げる距離は6m程度が一般的ですが、レベルに応じて調節することで、子どもから高齢者まで同じように楽しめます。その他にも、チームを組んで交代で投げたり、抜いたパネルの合計点数が20点になることを目指したり、工夫しだいで様々な遊び方ができる自由さが魅力です。

